

令和2年度 事業報告		
事業方針	事業の推進	実績に基づき、よりよい幼児教育と子育て支援を実施してきた。働く親も増えてきて親の考え方もだいぶ違ってきており、メールなどで親切に連絡をしても結局は理解してもらえない所は同じだった。これからは別の方法で親の意識改革をしてもらうようにしなくてはならない。一部の親との考えの違いがあり、保育のむつかしさを感じた。園舎の建て替えはコロナのため来年になった。
	予算編成の基軸	令和2年も市の補助金が主だったが、園児の保育料の無償化が始まり、集金分が少なくなったことは助かったが、給食費の免除の家庭があったりと細かいことでの大変であった。年長児が今年度までは多いので助かった。
具体項目		
1	教育・養護計画	保育と養護については教職員全体での共通理解・協力がより一層出来る様に心がけた。お互いに知識・経験の交換をし、よりスムーズな保育と養護が出来る様に務めたが、障害のある園児が増えてきたりしたため、うまくまとまらない学年がでてしまった。成果が上がらなかった所は、他学年がサポートをし、助けが必要な時は、どの学年からもいけるようにした。保育教諭と園児が保育と養護に達成感と満足感を得られる環境を作るように努めた。
2	研究計画	認定子ども園として、研修の在り方、教職員間での情報の交換を行い知識を豊かにする方法の研究等、前年度の体制も考慮し、今までのものと比べながら、より良いものとなる様に務めたが、コロナのために研修会が中止になることが多かったので、新しい情報をえることが大変だった。
3	地域連携計画	コロナのために中止になったものが多かった。地域の小学校へ駐車場を貸したり、リクレーション大会で運動場を借りたりした。小学校への訪問も行った。災害を想定して服織西小学校の音楽室まで学年別に逃げる練習をさせてもらった。中、大学生の職場体験、実習を受け入れた。農家の方に協力してもらい、みかんがり、芋掘り等農業体験を行うことができた。0.1歳児の散歩により近所の方たちとも交流ができた。
4	施設設備計画	今年度の園舎建て替えについては、市より見に来てもらったりしたが、コロナのために補助金がなくなってしまったため来年度に建て替えとなった。滅菌機やエヤコンなど具合が悪くなってきたものも出てきた。建て直しの前なので大事に使って行きたい。
5	管理運営計画	経験に基づき、教職員の増強を今まで以上に進めていった。それぞれの思い違いなどないように話し合いをよくして教職員の共通理解を深め、運営・保育方針を統一し快適な保育と養護の環境を作るように努めた。研修や報告会等がなくなったりしたため、お互いの情報・知識を共有し保育に活かすことに務めた。職員の終礼時間や職員会議などの時間の使い方的大幅な変更を行い負担の軽減をした。また、保護者との共通理解もはかるように努めたが、内容の理解がしてもらえない保護者が多くなった。
6	財務計画	今までの実績に基づき、幼保連携型認定こども園の財務状況は何とか把握できたが、補助金収入が運営の資金となるため、3月までに正式な金額が出ないので補助金に関してのより一層の理解が必要だった。教職員が足りない分や園児の減少分の補助金の減額があった。